

第7章 判断・願望

〈基本例文29〉

- ① 그렇게 즐거운 여행이었다면 나도 갈 걸.
(そんなに楽しい旅行だったなら、私も行けばよかつた。)
- ② 너도 왔으면 좋았을 것을.
(君も来ればよかつたのに。)
- ③ 나도 처음에는 안 갈까 싶었는데.
(私も、初めは行かないでおこうかと思ったんだけど。)

〈解説〉

- ① ② ~할 걸、~했으면 좋았을 것을は「～すればよかつたのに」という後悔・遺憾の意を表す。

- (例) 팥빙수 진짜 맛있더라고. 너도 시킬 걸.
(かき氷、マジでうまかったよ。おまえもたのめばよかつたのに。)
- (例) 작년에 더 열심히 공부했으면 좋았을 것을.
(去年もっと一生懸命勉強すればよかつた。)

- ③ ~할까 싶었는데は「～しようかと思ったんだけど」という以前の考えを表す。この 싶었는데は、 생각했는데に置き換えることができる。

(例) 어제 안에 숙제를 해 치울까 싶었는데 못 했다。
(昨日のうちに宿題を片付けてしまおうかと思ったが、だめだった。)

(例) 일출 구경을 할까 싶었는데 늦잠을 자 버렸다。
(日の出を見ようかと思ったのだが、寝坊してしまった。)

<基本例文30>

- ④ 다섯 시까지 기다려 주었으면 좋겠는데.
(5時まで待って欲しいんだけど。)
- ⑤ 내년에는 네가 무사히 고려대학에 합격했으면 하는 바램이다.
(来年は君が無事、高麗大学に合格してくれたらと願っている。)
- ⑥ 네가 더 열심히 공부하기를 바라 마지않는다.
(君がもっと一生懸命勉強することを願ってやまない。)

<解説>

- ④ ~해 주었으면 좋겠는데 「～して欲しいんだけど」 の意味を表す。「～しないで欲しいんだけど」 は～하지 말았으면 좋겠는데という。

(例) 우유를 사 와 주었으면 좋겠는데。
(牛乳を買って来て欲しいんだけど。)

(例) 그런 노래는 부르지 말았으면 좋겠는데。
(そんな歌は歌わないで欲しいんだけど。)

⑤ 바램は、bara-da 「願う」 の名詞形 바람 「願い」 の変化形である。したがって、～했으면 하는 바램이다は直訳すれば「～して欲しいという願いである」となるが、自然な日本語でいえば「～してくれたらと願っている」という意味である。

(例) 그들이 무사히 일본에 돌아왔으면 하는 바램이다.
(彼等が無事日本に帰つてきてくれたらと願っている。)

(例) 그 수술이 성공되었으면 하는 바램이다.
(その手術が成功して欲しいと願っている。)

⑥ もともとは、bara-da 「願う」 + 말다 「途中でやめる」 + ~지 않다 「～しない」 で、bara-sa 말지 않다 「願つて、途中でやめることをしない」という形が存在したものと思われるが、現在は、～를 바라 마지않다 「～を願つてやまない」という形で使われる。 마지않だの部分は動詞の活用をする。

(例) 말아들 집에 남자가 태어나기를 바라 마지않는다.

(長男の家に男の子が生まれることを願ってやまない。)

(例) 언젠가 그가 대통령이 되기를 바라 마지않습니다.

(いつか彼が大統領になることを願ってやみません。)

<基本例文31>

⑦ 더 살을 뺄야지. (もっと痩せよう。)

⑧ 그녀에게 전화해야겠다. (彼女に電話しよう。)

⑨ 이제는 담배를 피우지 말아야지.

(もう煙草は吸わないようにしよう。)

⑩ 아무리 괴로워도 인생을 비관하지 말아야겠다.

(どんなにつらくても人生を悲觀しないようにしよう。)

<解説>

⑦ ⑧ ~해야지、~해야겠다は、ともに「～しよう」という一人称の意志を表す。

(例) 벌써 일곱 시구나. 일어나야지.

(もう7時だなあ。起きよう。)

(例) 이만한 일은 참아야겠다.
(このくらいの事は我慢しよう。)

⑨ ⑩ ~지 말아야지、~지 말아야겠다は、「~しないようにしてよう」という否定的意志を表す。

(例) 앞으로는 수업시간에 졸지 말아야지。
(これからは、授業中に居眠りしないようにしよう。)

(例) 더 이상 거짓말을 하지 말아야겠다.
(これ以上、うそをつくのはやめよう。)

<基本例文32>

⑪ 내가 알아서 좋은 책을 사 올 게.
(僕が適当に見て、いい本を買ってくるよ。)
⑫ 방의 청소 같은 것은 그 사람이 알아서 하겠지.
(部屋の掃除なんて、自分で考えてやるでしょう。)

<解説>

⑪ ⑫ 알아서は、「適当に見て」、「自分で考えて」という2つの意味で使われる。

(例) 어느 회사 거라도 좋으니까 네가 알아서 사 와라。
(どこの会社のものでもいいから、適当に見て買って来てよ。)

(例) 연습 메뉴는 네가 알아서 결정해라.
(練習メニューは、自分で考えて決めなよ。)

〈基本例文33〉

- ⑬ 나도 이걸 먹어 볼라 그래.
(僕も、これを食べてみようと思うんだよ。)
- ⑭ 나는 그에게 사람이 들어오면 꼭 인사를 하라고 말했다.
(私は彼に、人が入ってきたら必ず挨拶しろと言った。)
- ⑮ 이대로 가면 회사가 망할 것 같으니 조금 도와 달라고 형에게 부탁했다.
(このまま行ったら会社が潰れてしまうから少し助けてくれと、兄に頼んだ。)
- ⑯ 이번 대회에서도 그녀가 우승할 것이라고는 장담할 수는 없다.
(今度の大会でも彼女が優勝するとは言い切れない。)
- ⑰ 나는 대학에서는 중국의 역사를 연구할 작정이다.
(私は、大学では中国の歴史を研究するつもりだ。)

〈解説〉

- ⑬ ~할라 그래は、~하려고 생각해 「~しようと思うんだ」 のくだけた言い方であり、会話でのみ使われる。 그래の原形は그러다という動詞であるが、この語は、「そうする」という意味で使われるほかに、하다「言う、思う、する」の代用としても使われる。

(例) 나는 집에 있을라 그러는데。
(僕は家にいようと思うんだけど。)

(例) 대학원에 갈라 그러면 엄청난 양의 공부가 필요해。
(大学院に行こうと思うなら、ものすごい量の勉強が必要だよ。)

⑭ (動詞の語幹) + (으)라고で、「～しろと」という命令の意味を表す。次の2つの文を比べてみよう。

(例) 어머니는 “빨리 먹어라”라고 말씀하셨다。
(母は、「早く食べなさい」と言った。)

(例) 어머니는 빨리 먹으라고 말씀하셨다。
(母は、早く食べなさいと言った。)

「～するなど (禁止)」は、～하지 말라고という。

(例) 두 번 다시 지각하지 말라고 타일렀다。
(2度と遅刻するなど叱った。)

(例) 여기에 차를 세우지 말라고 몇 번이나 말했는데。
(ここに車を止めるなど何度も言ったのに。)

⑮ ~해 달라고で「～してくれと (依頼)」の意味を表す。～해 주라고とはいわない。

(例) 조금 보여 달라고 부탁했다。
(少し見せてくれと頼んだ。)

(例) 그는 저번의 일은 용서해 달라고 편지를 보내 왔다。
(彼は、この前の事は赦してくれと手紙を送ってよこした。)

- ⑯ ~라고는 장담할 수 없다で「~とは言い切れない」という不確実予定性を表す。 장담하다는 「断定する」という意味である。
- ⑰ ~할 작정이다で「~するつもりだ」という意志を表す。

第8章 謙歩・強調

<基本例文34>

- ① 뛰기는커녕 걸을 수조차 없다.
(走ることはおろか、歩くことさえできない。)
- ② 독일어는 고사하고 영어도 못 한다.
(ドイツ語はおろか、英語もできない。)

<解説>

- ① ② ~는커녕、~는 고사하고は、「~はおろか」という意味を表す。後ろには必ず「~さえできない」という表現が続く。

(例) 1급은커녕 2급조차 아직 합격하지 못했다.

(1級はおろか、2級さえまだ合格していない。)

(例) 100명은 고사하고 10명도 못 모았다.

(100人はおろか、10人も集められなかった。)

<基本例文35>

- ③ 약을 먹어 봤자 소용이 없겠지.
(薬を飲んだところで、むだでしょう。)
- ④ 국내연행이라면 몰라도 해외여행은 절대로 못 간다.
(国内旅行ならともかく、海外旅行には絶対に行けない。)

- ⑤ 조금 생활이 어려워지는 한이 있어도 나는 연극을 하고 싶다.
(たとえ少し生活が大変になったとしても、私は演劇をやりたい。)
- ⑥ 키가 작더라도 상관없다. (背が低くても関係ない。)
- ⑦ 많은 사람이 반대할지언정 나는 가수가 되고 싶다.
(多くの人が反対したとしても、私は歌手になりたい。)
- ⑧ 나는 돈을 빌리면 빌렸지 절대로 훔치지는 않는다.
(私は、お金を借りることはあっても、絶対に盗みはない。)
- ⑨ 그녀는 비록 예쁘지만 마음이 굉장히 고약하다.
(彼女は確かにかわいいけれど、かなり気難しい。)

<解説>

- ③ ~해 봤자 「～したところで」 という諦めの気持ちを表す。

(例) 지금부터 공부해 봤자 50점이 고작일 것이다.

(今から勉強しても、50点がせいぜいの所だろう。)

(例) 조깅을 해 봤자 1킬로도 못 뛸 것이다.

(ジョギングをしたところで、1kmも走れないだろう。)

- ④ ~면 몰라도 「～ならともかく」 の意味を表す。

(例) 중국사람이라면 몰라도 나는 그런 한자는 못 쓴다.
(中国人ならともかく、私にはそんな漢字は書けない。)

(例) 택시 타고 간다면 몰라도 걸어서 가면 꼭 늦을 거예요.

(タクシーに乗って行くならともかく、歩いて行ったら必ず遅刻しますよ。)

⑤ 한(恨)とは韓国人特有の感情で、半永久的に持続する「限りなく残念だという思い」のことである。～하는 한이 있어도は、直訳すれば「～という“한(恨)”を持つことになっても」ということだが、「たとえ～することになっても」という意味で使われる。

(例) 내가 굶어죽는 한이 있더라도 아들들은 행복하게 되었으면 좋겠다.

(たとえ私が飢え死にしたとしても、息子たちには幸せになって欲しい。)

(例) 내 개인적인 시간이 희생되는 한이 있어도 나는 진상을 구명하고 싶다.

(たとえ私の個人的な時間が犠牲になったとしても、私は真相を究明したい。)

⑥ ⑦ ~하더라도、~할지언정は、いずれも～해도「～しても」という譲歩表現の強調形である。

(例) 돈이 없더라도 사랑이 있으면 괜찮다。
(お金がなくても、愛があれば大丈夫だ。)

(例) 가령 일등이 못 될지언정 최선을 다한다는 것이 중요하다。
(たとえ一番になれないとしても、最善を尽くすということが大事だ。)

⑧ ~하면 했지で「～することがあっても」と極端な場合を提示する。後ろには必ず「～することはない」という否定表現が来る。

(例) 경찰에 잡히면 잡혔지 그들을 배반할 수는 없다。
(警察につかまることがあっても、彼等を裏切ることはできない。)

(例) 고문을 당하면 당했지 군사기밀은 절대로 누설할 수 없다。
(拷問を受けることがあっても、軍事機密は絶対に漏らせない。)

⑨ 비록 ~지만 「確かに～だけれども」という逆接を表す。

(例) 비록 대학은 졸업했지만 영어는 제대로 못 한다。
(確かに大学は出たけれど、英語はきちんと話せない。)

(例) 비록 지금은 경기가 좋지만 앞으로는 어떻게 될지 알 수 없다.

(確かに今は景気がいいけれど、これからはどうなるかわからない。)

<基本例文36>

- ⑩ 객지생활이라 가뜩이나 쓸쓸한데 주위의 사람들은 내 사정을 이해해 주지 않는다.
(外国生活ゆえにただでさえ寂しいのに、周りの人は私に事情を理解してくれない。)
- ⑪ 우리 집은 전철역에서는 멀되 생활은 편리하다.
(うちは、駅からは遠いけど生活は便利だ。)
- ⑫ 하기야 나도 쉽고 싶지만 지금은 살림이 어려우니까 어쩔 수 없어.
(そりやあ、僕だって休みたいけど、今は生活が大変だから仕方ないよ。)
- ⑬ 내일 저녁 다섯 시에는 꼭 집에 있도록 해라.
(明日の夕方5時には必ず家にいるようにしてね。)
- ⑭ 좋은 책상이 있어야만 공부하려는 마음이 생긴다.
(いい机があってこそ、勉強しようという気持ちが湧く。)
- ⑮ 가장 중요한 것은 건강이지, 돈은 아니다.
(一番大事なものは健康であって、お金ではない。)
- ⑯ 평생에 한 번도 결혼하지 않고 살아가는 사람들도 없지 않아 있다.
(一生の間、一回も結婚せずに生きていく人たちも、少なからずいる。)

<解説>

⑩ 가뜩이나 ~한데で「ただでさえ~なのに」という意味を表す。

(例) 회사원이라 가뜩이나 바쁜데 아들이 입원해서 더욱 바빠졌다.

(会社員だからただでさえ忙しいのに、息子が入院してさらに忙しくなった。)

(例) 가뜩이나 생활이 어려운데 도둑을 맞아서 이제는 속수무책이다.

(ただでさえ生活が苦しいのに泥棒に入られて、今やなすすべがない。)

⑪ ~하되は、~하지만と同じく「~だけれども」という逆接を表す。

(例) 그도 술을 좋아하되 절제할 줄을 알고 있다.

(彼も酒が好きだが、節制することを知っている)

(例) 지금은 서투르되 몇 년 후에는 꼭 잘 하겠지요.
(今は下手だけれど、何年か後にはうまくなっているでしょう。)

⑫ 하기야は、「そりやあ……」、「もっとも……」という本心提示・例外提示の表現である。

(例) 하기야 나에게도 고민은 있어。
(そりやあ、私にだって悩みはあるさ。)

(例) 하기야 1년에 1억원 정도 벼는 사람은 안 그렇겠지만요。
(もっとも、1年で1億ウォンぐらい稼ぐ人は違うでしょうけれど。)

⑬ ~하도록は、「~するように」と目標を表す。

(例) 교통사고를 당하지 않도록 조심해라。
(交通事故に遭わないように気をつけるんだよ。)

(例) 너는 살을 뺐도록 노력을 해야 돼。
(君は、痩せるように努力をしないといけないよ。)

⑭ ~해야만で、「~してこそ」という必要条件を表す。

(例) 돈이 있어야만 유학을 갈 수 있는 것이다。
(お金があってこそ留学できるのだ。)

(例) 노래도 몇 번이나 연습해야만 잘 부를 수 있게 되는 것이다。
(歌も、何度も練習してこそ上手に歌えるようになるのだ。)

⑯ ~이지, …는 아니다で、「～であって、…ではない」の意味を表す。

(例) 나는 작가이지, 비평가는 아니다。
(私は作家であって、批評家ではない。)

(例) 그녀가 가지고 있는 것은 가짜이지, 진짜가 아니다.

(彼女が持っているのは偽物であって、本物ではない。)

⑰ 없지 않아 있다で、「少なからずいる（ある）」という意味を表す。 없지 않아は直訳すれば「ないことはなく」だが、「少なからず」の意味で使われる。

<基本例文37>

- ⑯ 이 시냇물은 맑기 이를 데 없다.
(この小川の水は、この上なく澄んでいる。)
- ⑰ 일본의 물가는 비싸기 짝이 없다.
(日本の物価は、この上なく高い。)
- ⑱ 오죽 목이 말랐으면 이런 물까지 마셨을까?
(どんなに喉が乾いていれば、こんな水まで飲むだろうか?)
- ⑲ 이 사람이야말로 저번의 마라톤에서 금메달을 딴 사람이다.

(この人こそ、この前のマラソンで金メダルを取った人だ。)

21. 시간이라면 얼마든지 있다니까.
(時間なら、いくらでもあるってば。)
22. 일본사람이니까 당연히 생선초밥은 좋아하고 말고요.
(日本人ですから、当然、寿司は好きですとも。)
23. 고등학생인데도 이런 문제도 못 풀다니.
(高校生なのに、こんな問題も解けないなんて。)

<解説>

⑯ ⑰ ～하기 이를 데 없다、～하기 짝이 없다は、共に「この上なく～だ」という意味を表す。～하기 이를 데 없다が良い事にも悪い事にも使われるのに対し、～하기 짝이 없다は悪い事にしか使われない。直訳すれば、 이를 데 없다は「それ以上いたるべき所がない」、 짝이 없다は「対になるものがない」という意味である。

(例) 여기서 생활하는 것은 편리하기 이를 데 없다。
(ここで生活するのは、この上なく便利である。)

(例) 그의 방은 지저분하기 짝이 없다.
(彼の部屋は、この上なく汚い。)

⑲ 오죽 ~했으면 …할까で、「どんなに～ならば…するだろうか？」という意味を表す。日本語訳する場合は「…するなんて、さぞかし～だったんだろう」と訳してもよ

い。

(例) 오죽 피곤했으면 이런 데서 잘까?

(どんなに疲れていれば、こんな所で寝るだろうか？)

(例) 오죽 아팠으면 이런 목소리를 낼까?

(どんなに痛ければ、こんな声を出すだろうか？)

㉚ ~이야말로で、「～こそ」という強調表現になる。

21. ~하다니까で、「～するってば」という強調表現になる。名詞に接続する場合は、名詞 + (으)라니까となる。

(例) 시끄럽다니까. (うるさいってば。)

(例) 이건 내 거라니까. (これは僕のだってば。)

22. ~하고 말고요で、「～ですとも」という強調表現になる。

(例) 저도 도와드리고 말고요.

(私もお手伝いしますとも。)

(例) 정말이고 말고요. (本当ですとも。)

23. ~하다니で「～するなんて」という驚きを表す。名詞に接続する場合は、名詞 + (으)라니となる。

(例) 일은 제대로 했는데 월급을 안 주다니.
(仕事はきちんとやったのに、月給をくれないなんて。)

(例) 이런 영터리 영어를 쓰는 사람이 선생님이라니.
(こんなめちゃくちゃな英語を話す人が先生だなんて。)

第9章 推量

<基本例文38>

- ① 배가 고플 때에는 어떤 요리라도 맛있어 보인다.
(おなかがすいている時には、どんな料理でもおいしく見える。)
- ② 오후에는 비가 올 것 같다.
(午後には雨が降りそうだ。)
- ③ 그는 아직도 자고 있을지도 모른다.
(彼はまだ寝ているかもしれない。)
- ④ 그녀는 무엇인가 안 좋은 일이 있었나 보다.
(彼女は、何か良くない事があったようだ。)

<解説>

- ① 形容詞の連用形 + 보이다で、「～に見える」の意味を表す。

(例) 그는 실제보다 젊어 보인다.
(彼は、実際より若く見える。)

(例) 얼핏 보기에는 그 도시는 평화로워 보인다.
(ちょっと見ただけだと、その都市は平和に見える。)

- ② ~할 것 같아で、「～しそうだ」という推量を表す。

(例) 이대로 가면 그녀는 좋은 가수가 될 것 같다。
(このまま行けば、彼女はいい歌手になりそうだ。)

(例) 저 가방은 되게 무거울 것 같애。
(あのカバンは、めちゃくちゃ重そうだよ。)

③ ~할지도 모르다で、「～かもしない」という不確実性を表す。

(例) 그녀가 범인일지도 몰라。
(彼女が犯人かもしないよ。)

(例) 딸이 결혼할 때에는 울어 버릴지도 모른다。
(娘が結婚する時には、泣いてしまうかもしれない。)

④ 動詞 + 나 보다、形容詞 + 은가 보다、名詞 + 인가 보다で、「～のようだ」という推量を表す。この보다は、 봅니다、 빼다などと変化させることはできない。

(例) 어제 누가 왔나 보다。
(きのう誰かが来たようだ。)

(例) 요새 바쁜가 보다. (最近忙しいようだ。)

(例) 엄격한 사람인가 보다. (厳しい人のようだ。)

<基本例文39>

- ⑤ 하마터면 차에 치일 뻔했다.
(あやうく車に引かれるところだった。)
- ⑥ 너도 여기에 와 있을 줄로 알았어.
(君もここに来てると思ったよ。)
- ⑦ 머지않아 눈이 오리라고 생각했다.
(近いうちに雪が降るだろうと思った。)

<解説>

⑤하마터면 ~할 뻔했다で、「あやうく~するところだった」の意味を表す。하마터면の代わりに자칫하면を使うこともある。

(例) 하마터면 선생님에게 들킬 뻔했다.
(あやうく先生にばれるところだった。)

(例) 자칫하면 여자친구에게 찰 뻔했다.
(あやうくガールフレンドにふられるところだった。)

⑥ ⑦ ~할 줄로 알았다、~하리라고 생각했다は、「~すると思った」という予想を表す。

(例) 오늘은 비가 올 줄로 알았는데 안 오네요.
(今日は雨が降ると思ったんですが、降りませんね。)

(例) 이번에는 꼭 이길 수 있으리라고 생각했는데。
(今度は絶対勝てると思ったんだけど。)

<基本例文40>

- ⑧ 아니나 다를까 그는 아직도 자고 있었다.
(案の定、彼はまだ寝ていた。)
⑨ 이건 어차피 버릴 거 아니야?
(これは、どうせ捨てるんでしょ?)

<解説>

- ⑧ 아니나 다를까は、直訳すると「そうじやないのか？違
うのか？」となるが、「案の定」の意味で使われる。
- ⑨ 어차피は、漢字では「於此彼」（こちらに於いてもあち
らに於いても、の意味）と書くが、「どうせ」の意味で
使われる。